

応募総数 **1,065 点**から選ばれた
横浜の最も魅力的な「景観」「人々のふれ合い」を伝える写真とは？！

ヨコハマ365日 フォトコンテスト

PHOTO CONTEST 審査結果発表！

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューローが、横浜の景観の美しさと魅力を訴求し、来訪意欲を喚起することを目的として実施した『ヨコハマ 365 日フォトコンテスト』の受賞作品が、このたび決定しました。

残したい・伝えたい景観部門 最優秀賞

受賞者：朝田 理恵さん



「残したい・伝えたい景観部門」、「人がふれ逢う、まち部門」の 2 部門に対し、**総計 1,065 点**の写真作品が寄せられました。写真家・渡部陽一氏等を審査員に迎え、最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞あわせて 13 作品を選出。さらに事前審査を通過した各部門 30 作品を対象に、Facebook の「いいね！」機能を利用した一般投票を実施し、獲得票数上位 5 作品をソーシャルメディア賞としました。

※各部門受賞作品は別紙をご覧ください。

受賞作品は観光や魅力を広く発信することを目的としたプロモーションツールとして活用されるほか、横浜フォトライブラリー(※)へ追加されます。『ヨコハマ 365 日フォトコンテスト』特設サイトでは、受賞作品すべての紹介、および審査員のコメントを本日より掲載しています。さらに、サイト訪問者に対し「わざわざその場所へ行って撮影をしたい」との横浜への来訪意欲を喚起すべく、受賞作品が撮影された場所を地図上に示した撮影スポットマップも掲載しています。

横浜市が全国を対象に 2012 年に実施した『横浜の魅力に関する調査』において、「横浜の街並み・景観」が『横浜の魅力』の第 1 位となるなど、横浜の景観の美しさは全国的にも有名です。横浜での周遊および滞在を促進すべく、横浜の夜景や街並み、季節や横浜に訪れる人々なども風景の一部として紹介し、その魅力を最大限に訴求できるコンテンツを目指します。

<ヨコハマ 365 日フォトコンテスト 総 評>

多数のエントリー作品を見させていただき感じました。出展された沢山の写真家の方々は横浜を愛し、横浜の一日を知っている。横浜を日常的に楽しんでいる。撮影する上での大切な定義、それは“現地に密着すること”。この一撮入魂の情熱が一枚一枚から深く伝わってきました。改めて後世に伝えられていくみなさまの一枚一枚の作品に敬意を表します。

(審査員 写真家 渡部 陽一)



(※)横浜フォトライブラリー：横浜の観光・コンベンション振興を目的とした広報活動にご利用いただく目的に限り、無料で写真の貸出を行うサービスです。 http://www.welcome.city.yokohama.jp/ja/media/photo_library/ (裏面あり)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL:045-221-2111 E-mail: pr@www.welcome.city.yokohama.jp

* 本日は19:00 まで在席しております。

『ヨコハマ 365 日フォトコンテスト』について

1. 募集期間 2012 年 10 月 5 日～12 月 14 日
2. テーマ 「ヨコハマ 365 日」(季節や時間によってさまざまな表情をみせるヨコハマの 365 日を切り取った写真を募集)
3. 募集部門
 - (1) **残したい・伝えたい景観 部門**
個人的な思い入れのある横浜の風景や、誰かに教えずにはいられない隠れた名所など、横浜ならではの残していきたい景観や共有したい風景の写真
 - (2) **人がふれ逢う、まち 部門**
横浜のお気に入りのスポットで撮った大切な人や家族、友人、ペットが主役の写真
※応募者は(1)(2)ともそれぞれ、作品にまつわるエピソードを添えて応募することが条件
4. 受賞について
 - (1) 最優秀賞 (各部門 1 名)
 - (2) 優秀賞 (各部門 4 名)
 - (3) ソーシャルメディア賞 (各部門 5 名)
 - (4) 審査員特別賞 (3 名)
 - ・残したい・伝えたい景観部門 横浜ウォーカー賞 (1 名)
 - ・人がふれ逢う、まち部門 ファミリーウォーカー賞 (1 名)
 - ・部門共通 スマートイルミネーション賞 (1 名)
5. 応募作品総数 **1,065 点**
6. ソーシャルメディア賞投票について
Facebook の「いいね！」機能によるオンライン投票
(投票期間: 2012 年 12 月 17 日(月)～2013 年 1 月 18 日(火))
7. 受賞作品展 『ヨコハマ 365 日フォトコンテスト受賞作品展』
会期: 2 月 19 日(火)～3 月 3 日(日) 10:00～18:00(都合により変更する場合あり) ※年中無休
会場: 象の鼻テラス
〒231-0002 横浜市中区海岸通1丁目 TEL: 045-661-0602 FAX: 045-661-0603
料金: 入場無料
※『スマートイルミネーション横浜 2012 森日出夫写真展』と同時開催
8. ヨコハマ 365 日フォトコンテスト特設サイトについて
URL: www.welcome.city.yokohama.jp/ja/tourism/365photo (PC・スマートフォン)
<https://www.facebook.com/welcome.city.yokohama/app.412033302179892> (Facebook)
9. 本フォトコンテストに関する一般からの問い合わせ先
ヨコハマ 365 日フォトコンテスト事務局(株式会社シグナル内)
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 18F
TEL: 03-5572-6068 受付時間: 10:00～18:00(土・日・祝祭日を除く)
E-mail: info@yphc.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL: 045-221-2111 E-mail: pr@www.welcome.city.yokohama.jp

* 本日は19:00 まで在席しております。

◆ 審査結果（最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞）

別紙

※ソーシャルメディア賞結果につきましては特設サイトをご覧ください。

残したい・伝えたい景観部門

【最優秀賞】1点 朝田 理恵さん



賞品 2013 横浜ホテル年間ペアパスポート(横浜市内 11 ホテル各 1 泊分宿泊券)

★審査員講評

- 横浜の色、イメージ、美しさを表現し尽くした一枚であると感じました。この写真を見たときに、これこそ The Yokohama だと感じました。光のコントラストが魅力的です。 (写真家 渡部 陽一)
- 慣れ親しんだ風景がここまで変化を見せるのか、というほど全く別の顔を感じさせます。 (横浜美術館 首席学芸員 天野 太郎)
- 暖かな光でライトアップされた2棟の赤レンガ倉庫の間に設置されたまばゆいばかりのフラワーガーデン。異なる光の演出を、絶妙にとらえ、何とも幻想的な作品に仕上がっているなあ～と思いました♪ (横浜観光コンベンション・ビューロー 公式キャラクター ハマコ)

【優秀賞】4点 賞品 横浜みなとみらい万葉倶楽部 招待券ペア



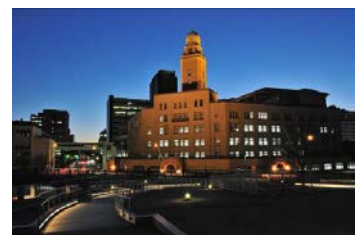
受賞者：岡野 浩さん



受賞者：金子 紘さん



受賞者：HINORANさん



受賞者：安部 彰一さん

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL:045-221-2111 E-mail: pr@www.welcome.city.yokohama.jp

* 本日は19:00 まで在席しております。

人がふれ逢う、まち 部門

【最優秀賞】1点 井関 聖将さん



賞品 2013 横浜ホテル年間ペアパスポート(横浜市内 11 ホテル各 1 泊分宿泊券)

★審査員講評

- 歓声が写真から伝わってきます。この写真を見て思わず微笑んでしまいました。船の船主部分だけが写ることによって船の大きさがより際立つ技術に頭がさがりました。(写真家 渡部 陽一)
- 部門テーマである「人」の印象が色濃く出た作品であると感じました。(横浜美術館 主席学芸員 天野 太郎)
- ハツラツとした子ども達の様子が伝わってくる一枚。これほどまで、客船や港を近くで感じられる公園は全国でもそんなにはないはず。こうして小さいときから港や船に親しめるのも“ハマっこ”としての自慢の一つです◎(横浜観光コンベンション・ビューロー 公式キャラクター ハマコ)

【優秀賞】4点 賞品 ロイヤルウィング 無料乗船・お食事券ペア



受賞者：平石 宏行さん



受賞者：田中 文夫さん



受賞者：坂本 良介さん



受賞者：片 譲さん

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL:045-221-2111 E-mail: pr@www.welcome.city.yokohama.jp

* 本日は19:00 まで在席しております。

【審査員特別賞】 3点

◆残したい・伝えたい景観 部門【横浜ウォーカー賞】 すわりばたやぱん さん



副賞 横浜ウォーカー誌面上で受賞作品の掲載

★審査員講評

イラストの場所は話題のラッキースポット。その先には、逆光で影となっていますが、かつて外国人船員達から親しまれたリアルな三塔 Jack、Queen、King が。時代で役割は変わってもシンボルであり続ける、新旧の横浜が一枚に表現されています。

(横浜ウォーカー賞審査員 横浜ウォーカー編集長代理 鷹取 祐子)

◆人がふれ逢う、まち 部門【ファミリーウォーカー賞】 高橋 利喜夫さん



副賞 ファミリーウォーカー誌面上に受賞ファミリーで読者モデルとして登場

★審査員講評

構図に動きがあって、親子のふれあいの楽しさが伝わってきます。またお父さんの服の色とブランコの色がペアになっているのも写真としての完成度を高めていますね。背景に横浜らしさが盛り込まれているのも素敵です。

(ファミリーウォーカー賞審査員 ファミリーウォーカー編集長 山本 篤史)

◆部門共通【スマートイルミネーション賞】 1点 新開 進さん



副賞 スマートイルミネーション横浜 2012 ドキュメントブックへの作品掲載・ドキュメントブック進呈

★審査員講評

長時間露光で街と光の調和を見せる良い作品が多く、選出するのに苦労しました。みんなで協力してイルミネーションを作っている様子がよくわかり、赤レンガとのアングルのバランスも良いこの作品が受賞にふさわしいと感じました。

(スマートイルミネーション賞審査員 写真家 森日出夫)

※画像データをご希望される方は下記までお問合せください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL:045-221-2111 E-mail: pr@www.welcome.city.yokohama.jp

* 本日は19:00 まで在席しております。